

令和8年度 第1回 小松市地域公共交通活性化協議会

日時 令和8年7月16日（木）14：00～

場所 小松市役所7階 701・702会議室

会 議 次 第

1. 開会挨拶

会長 宮橋 勝栄

2. 協議事項

- (1) 令和7年度事業報告
- (2) 令和7年度決算報告
- (3) 小松市地域公共交通利便増進実施計画の策定に向けて
- (4) コミュニティバス木場潟線の見直し
- (5) 小松市ライドシェア（i-Chan）とタクシーとの共同運営
- (6) 南部乗合ライドシェアの実証実験

3. 報告事項

自動運転バスの事故

4. その他

小松市地域公共交通活性化協議会 委員名簿

令和8年7月1日現在

役職	氏名	所属団体・役職名	区分（規約第4条）	出欠	代理出席者	備考
会長	宮橋 勝栄	小松市 市長	市長	出席		
委員	茗荷谷 豊	小松商工会議所 空港・都市政策委員会 委員長	住民又は 利用者の代表	出席		
監事	北川 潔	小松市町内会連合会 副会長		出席		
委員	本田 喜作	小松市老人クラブ連合会 副会長		欠席		
委員	宮崎 忍	小松市校下女性協議会 会長		出席		
委員	北 康典	加賀地区高等学校校長会 委員		出席		
委員	森田 敏裕	小松市障害者自立支援協議会事務局 担当		出席		
委員	大村 進太郎	国土交通省 北陸信越運輸局 交通企画課 課長	国及び県の関係行政機関 の職員	出席		
委員	小林 豊	国土交通省 北陸信越運輸局 石川運輸支局 首席運輸企画専門官		出席		
委員	吉田 聖	石川県 企画振興部 新幹線・交通対策監室 交通政策課 課長補佐		出席		
委員	林 崇	石川県 南加賀土木総合事務所 維持管理課 課長		代理	維持管理課 景観・管理係長 原田 賢	
委員	酒井 満	石川県警察 小松警察署 交通課 課長		出席		
委員	伊藤 尋也	北鉄加賀バス株式会社 代表取締役社長	一般旅客自動車運送事業 者及びその関係団体の職員	代理	北鉄加賀バス株式会社 常務取締役支配人 石本 高	
委員	梅本 和宜	北鉄白山バス株式会社 取締役支配人		出席		
委員	西出 揮一郎	日本海観光バス株式会社 総務部 部長		出席		
委員	道端 隆一	小松地区タクシー協会 会長		出席		
委員	植村 猛	北陸鉄道労働組合北鉄加賀バス 小松職場委員	一般旅客自動車運送事業 者の事業用自動車の運転 者が組織する団体の職員	出席		
副会長	高山 純一	公立小松大学大学院 サステイナブルシステム科学研究科 教授	学識経験者その他市長が 必要と認める者	出席		
委員	加藤 博和	名古屋大学大学院 環境学研究科 教授		出席		計画専門部会長 福祉交通専門部会長
委員	中子 富貴子	公立小松大学 国際文化交流学部 学部長・教授		欠席		
委員	鹿野 剛史	西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社 地域共生室 室長		欠席		
委員	杉藤 信之	IRいしかわ鉄道株式会社 取締役・経営企画部 部長		出席		
委員	対馬 圭介	日野自動車株式会社 ソリューション事業部 モビリティ事業室 係長		出席		
委員	久保山 馨	石川県レンタカー協会 常務理事		出席		
委員	山本 ゆかり	一般社団法人こまつ観光物産ネットワーク 事務局長		出席		
監事	浜井 宏	小松市 都市創造部 部長	市の職員	代理	都市創造部 まちデザイン課 課長 東 俊宏	
委員	池上 裕子	小松市 健康福祉部 部長		出席		
委員	藤井 勝司	小松市教育委員会事務局 事務局長		出席		

令和7年度事業報告

1. 小松市地域公共交通活性化協議会等の開催状況

(1)小松市地域公共交通活性化協議会

開催日	開催内容
令和7年5月14日 (書面開催)	【協議事項】 ○小松市地域公共交通活性化協議会規約の改正
令和7年6月26日 (書面開催)	【協議事項】 ○小松市地域内フィーダー系統確保維持計画の策定
令和7年7月17日	【協議事項】 ○令和7年度事業計画(案) ○令和7年度収支予算(案) ○小松市地域公共交通計画のアップデート ○南部地区乗合ライドシェアの実証実験 【報告事項】 ○地域交通計画専門部会からの報告 「地域公共交通計画をどう作るか、そのために本協議会をどう活用するか」 名古屋大学 加藤教授 ○小松市地域公共交通活性化協議会 ○令和6年度事業報告 ○令和6年度収支決算 ○小松市における公共交通の現状 ○自動運転バスの取組状況 ○小松市ライドシェアの運行状況 ○乗降カウントセンサーの設置及びバスロケーションシステムの導入
令和7年9月2日	【協議事項】 ○南部乗合ライドシェアの実証実験
令和7年10月23日	【協議事項】 ○小松市地域公共交通計画の構成(案)と調査項目 ○小松市地域公共交通計画の方向性(将来像、現状診断等) 【報告事項】 ○小松市地域公共交通計画の策定状況 ①小松市地域公共交通策定に向けたステップ ②ワークショップ及び専門部会の開催状況 ③ワークショップ及び専門部会の計画等への反映 ④公共交通アンケート調査 ⑤公共交通に係る関係団体ヒアリングの結果

令和8年1月21日	【協議事項】 ○小松市地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価 ○南部乗合ライドシェア実証実験 ○小松市地域公共交通計画の策定状況 ①小松市地域公共交通計画(原案) ②小松市地域公共交通策定に向けたステップ ③ワークショップ及び専門部会の開催状況 ④ワークショップ及び専門部会の計画等への反映 ⑤公共交通アンケート調査 【報告事項】 ○自動運転バスの運賃の変更
令和8年2月25日 (書面開催)	【協議事項】 ○小松市地域公共交通計画策定調査業務の事業評価にかかる協議
令和8年3月18日	【協議事項】 ○令和8年度収支予算 ○小松市地域公共交通計画(原案) ○令和8年度事業計画 【報告事項】 ○南部乗合ライドシェア実証実験の報告

(2)地域交通計画専門部会

開催日	開催内容
令和7年6月21日	○現状課題の認識共有 ○計画の目指す姿の確認
令和7年9月 28日	○現状分析、施策案の確認
令和7年12月21日	○小松市地域公共交通計画(素案)の確認
令和8年2月28日	○小松市地域公共交通計画(原案)の確認

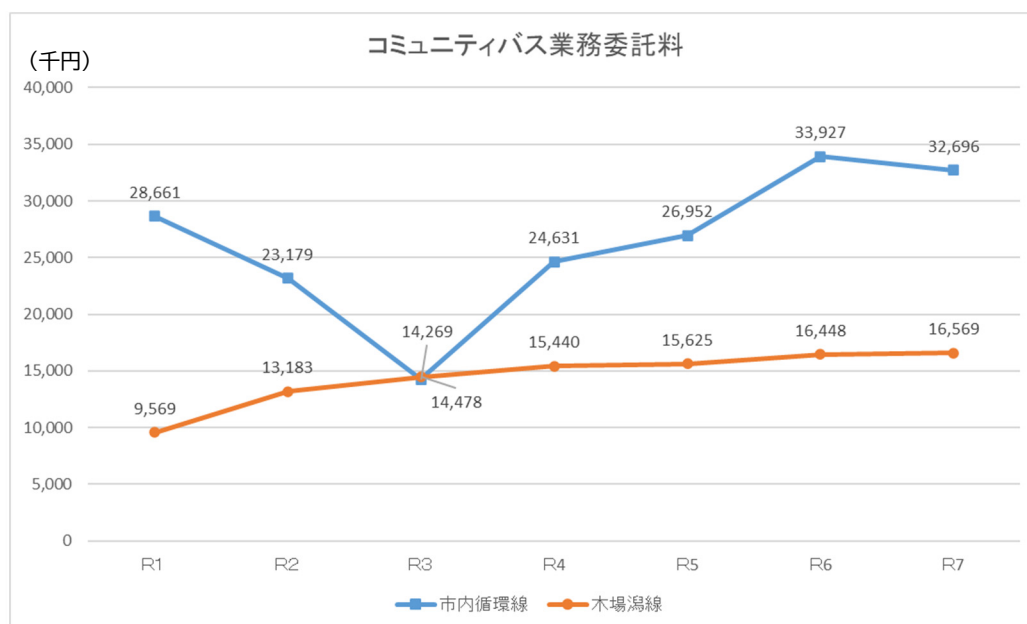
(3)住民ワークショップ

開催日	開催内容
令和7年6月21日	○現状課題の認識共有 ○計画の目指す姿の確認
令和7年9月28日	○課題説明、合意と解決に向けたアイデア出し
令和7年11月30日	○施策・KPI の合意と KPI 達成のための事業アイデア出し(新計画で未来の交通の姿の姿を実現させていくために)

(2)運行に係る経費

業務委託料:市内循環線 32,696 千円

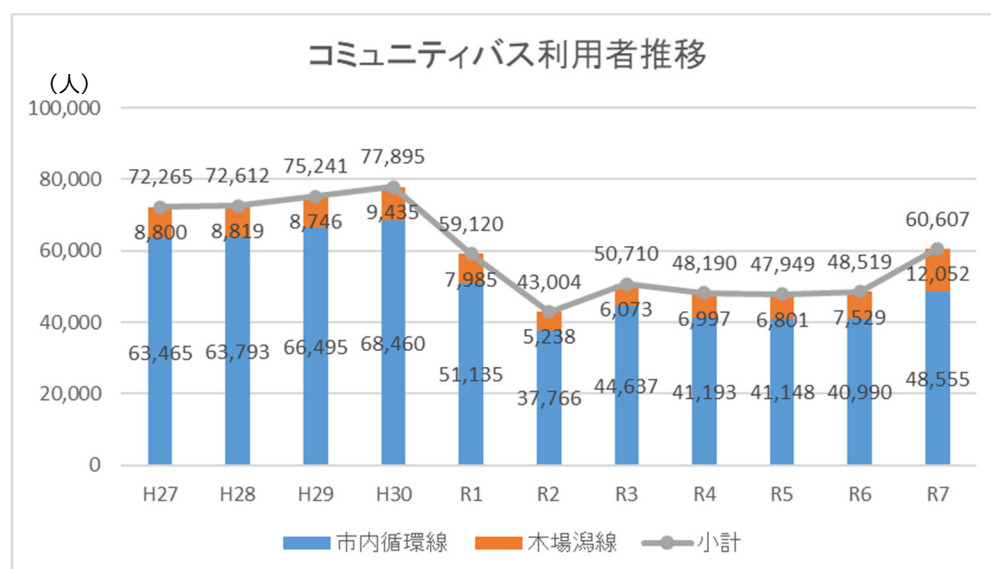
木場潟線 16,569 千円



○令和3年度の市内循環線について、新型コロナ対策として、運行事業者への国補助金が増額されたため、市から運行事業者への業務委託料が減額となっている

○市内循環線について、令和6年度より、従来、運行事業者へ交付されていた国補助金(フィーダー補助)が、小松市地域公共交通活性化協議会を経由して市へ交付されるようになったため、市から運行事業者への業務委託料が増額となっている

(3)利用状況



○令和6年度から7年度にかけて約 12,000 人増加

○令和7年9月にイオンモール新小松の無料シャトルバス(小松駅～イオンモール新小松間)が廃止されたことにより、イオンモール新小松までの市内循環線南コース、木場潟線の利用が増加

(4)バス停ネーミングライツ

小松市コミュニティバスが停留するバス停を市民のわかりやすい名称とすることで、バス利用者の利便性向上や官民協働体制で公共交通を支えコミュニティバス運行事業の改善を図る。

申込者	バス停名	期間	金額(年間)
医療法人社団愛康会	小松ソフィア病院前	R8.4.1~R12.3.31	100,000 円
医療法人社団荒木病院	あらきクリニック前	R8.4.1~R12.3.31	100,000 円
CKD 株式会社	CKD 東門前	R6.10.~R11.9.30	100,000 円
イオンモール新小松	イオンモール新小松	R4.3.22~R9.3.21	100,000 円

3. 生活路線バス(12 路線)への運行補助

(1)北鉄加賀バス株式会社

○一般生活路線

補助率:県 1/3 市 1/3 事業者 1/3

路線数:3

補助金額:4,698,000 円

○特例生活路線

補助率:県 1/3 市 2/3

路線数:9

補助金額:28,176,000 円

○単独契約

補助率:10/10

路線数:2

補助金額:2,272,000 円

(2)北鉄白山バス株式会社

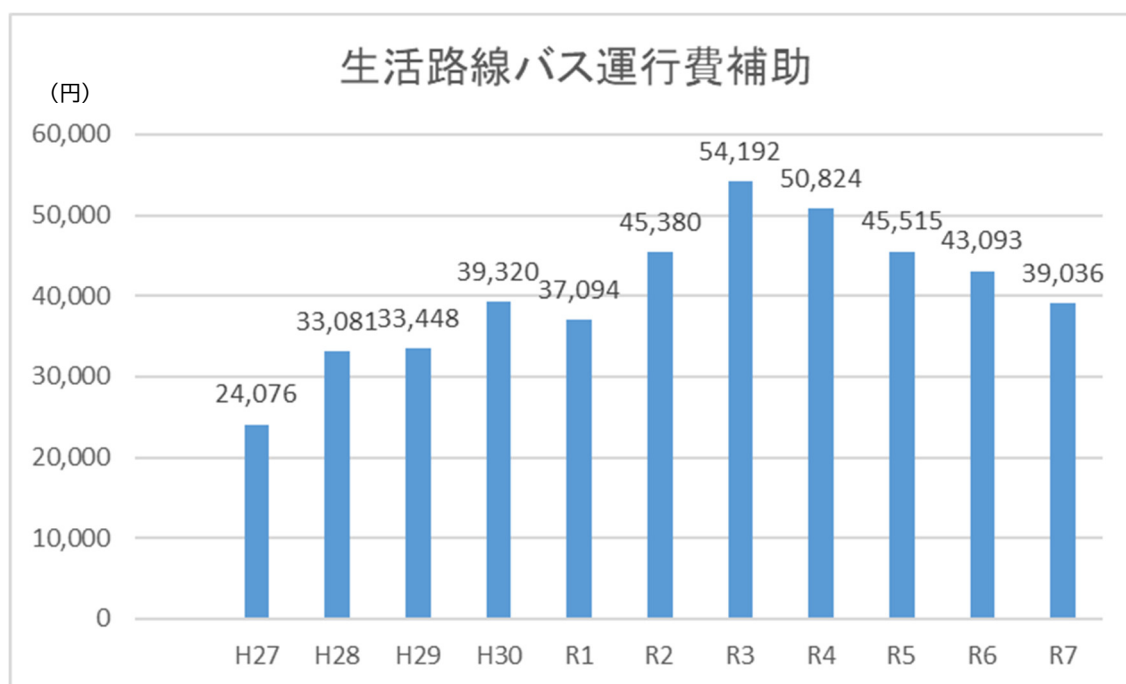
○一般生活路線

補助率:県 1/3 市 1/3 事業者 1/3

路線数:1

補助金額:3,889,763 円

補助対象事業者	路線区分	路線名	R 7 補助申請額	【参 考】 R 6 実績	【参 考】 R 5 実績	備考
北鉄加賀バス株式会社	一般生活 (5路線)	麦口	242, 176	547, 214	1, 288, 432	走行距離 減少
		尾小屋	1, 078, 387	1, 288, 070	1, 475, 292	走行距離 減少
		ハニベ	0	0	0	
		粟津	3, 377, 812	4, 489, 475	4, 456, 779	走行距離 減少
		空港	0	0	0	
		計	4, 698, 375	6, 324, 759	7, 220, 503	
			↓	↓	↓	
		補助金額	4, 698, 000	6, 324, 000	7, 220, 000	
	特例生活 (9路線)	麦口	3, 315, 604	3, 954, 241	4, 072, 860	
		大杉	4, 248, 023	4, 901, 976	5, 925, 403	
		小杉	2, 195, 491	2, 217, 490	2, 201, 775	
		佐美	503, 418	756, 762	786, 511	
		月津	2, 914, 701	3, 177, 626	3, 322, 304	
		ハニベ	737, 860	1, 025, 344	1, 123, 798	走行距離 減少
		寺井	5, 420, 882	5, 175, 428	5, 519, 951	
		安宅	3, 957, 846	5, 077, 242	5, 179, 390	
		国府	4, 882, 690	4, 669, 819	4, 417, 710	
		計	28, 176, 515	30, 955, 928	32, 549, 702	
			↓	↓	↓	
		補助金額	28, 176, 000	30, 955, 000	32, 549, 000	
	単独契約 (2路線) ※R6まで 1路線	国府台	2, 128, 865	1, 829, 066	1, 822, 826	新規
		佐美	143, 875	0	0	
		計	2, 272, 740	1, 829, 066	1, 822, 826	
			↓	↓	↓	
		補助金額	2, 272, 000	1, 829, 000	1, 822, 000	
	補助金額 計			35, 146, 000	39, 108, 000	41, 591, 000
加賀白山バス株式会社	一般生活 (1路線)	佐野	3, 889, 763	3, 984, 734	3, 921, 785	
		補助金額	3, 889, 763	3, 984, 734	3, 921, 785	
補助金額 合計			39, 035, 763	43, 092, 734	45, 512, 785	



(1)運行概要

運行ルート:大杉ルート、尾小屋ルート

運行事業者:小松タクシー(株)

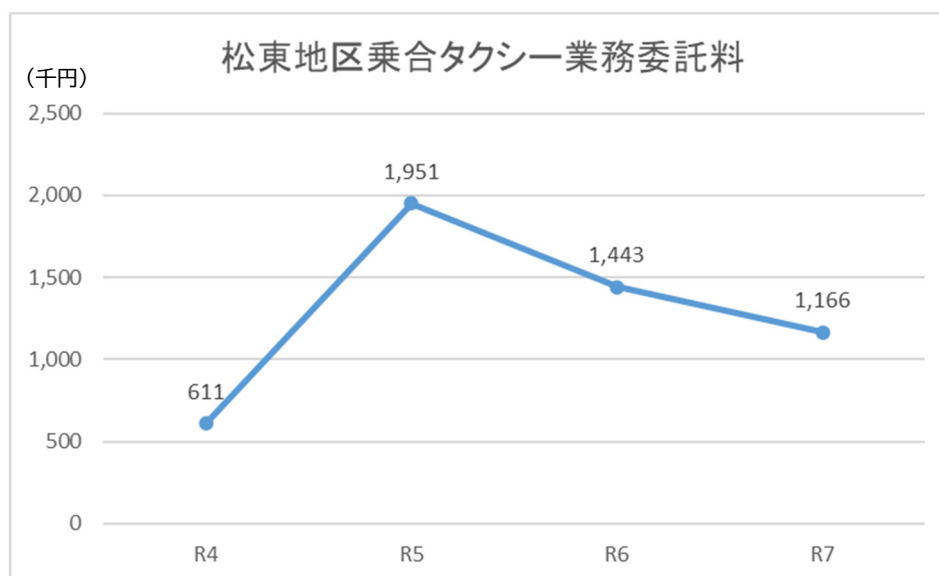
[illegible]

1 区間	200円	200円	200円
2 区間	400円		400円
3 区間	500円		

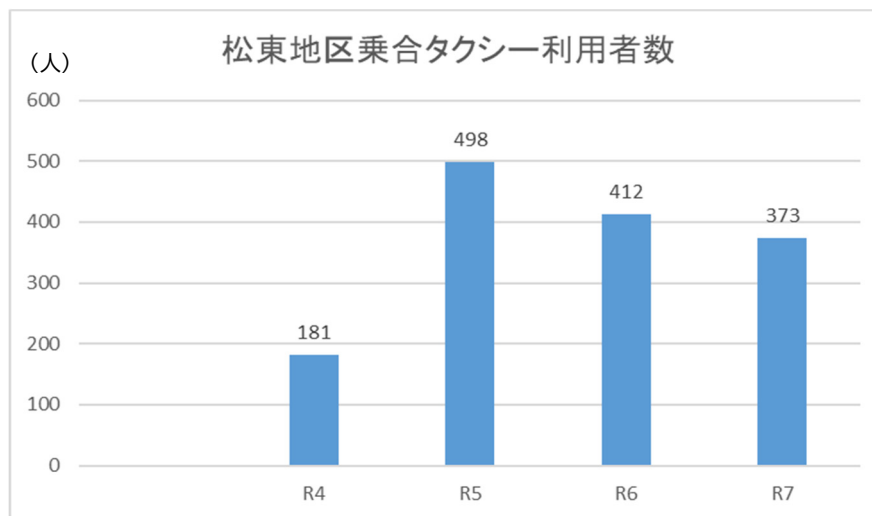
金野司
命取部内陣配
金野司
坂の原の松実
江田
不動
山根
市橋
米
松屋
池邊
渡邊
没佐藤
福子
上賀
似江二
伊藤
尾小谷

1 区間	200円	200円	200円
2 区間	400円	400円	
3 区間	500円		

業務委託料:1,166 千円



(3)利用状況



5. 小松市ライドシェア(i-Chan)

(1)運行概要

運行期間: 令和7年4月1日～令和8年3月31日

※令和8年1月1日～3日運休

木・金・土曜日(祝祭日を含む)17時～24時

運行エリア: 小松市・能美市・加賀市

(発着のいずれかが小松市内に限る)

実施主体者: 小松市

運営事業者: (株)パブリックテクノロジーズ

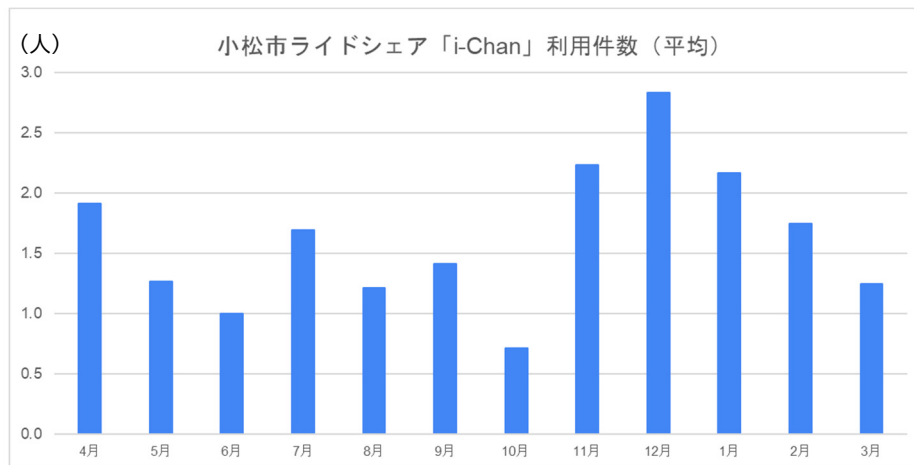
運行管理者: 小松タクシー(株)



(2)利用状況

小松市ライドシェア「i-Chan」利用実績

年	月	運行日数(日)	利用件数(件)	利用人数(人)	平均(件)	平均(人)
令和7年度	4月	12	23	32	1.9	2.7
	5月	15	19	32	1.3	2.1
	6月	12	12	14	1.0	1.2
	7月	13	22	31	1.7	2.4
	8月	14	17	25	1.2	1.8
	9月	12	17	29	1.4	2.4
	10月	14	10	14	0.7	1.0
	11月	13	29	55	2.2	4.2
	12月	12	34	58	2.8	4.8
	1月	12	26	29	2.2	2.4
	2月	12	21	23	1.8	1.9
	3月	12	15	58	1.3	4.8
合計		153	245	400	1.6	2.6



(3)ドライバー

登録者数:16人

報酬等:報償 運賃の70%

燃料費 15円/km

夜間手当 500 円/回(22 時以降)

通信費 2,000 円/月(年間で月平均 8 日以上乗務)

待機手当 1日の従事時間が4時間以上7時間未満 2,000 円

1日の従事時間が7時間以上 4,000 円

(4)運行に係る経費

業務委託料:28,017千円

主な項目:プロジェクトマネジメント費、AI 配車システム利用料、運行管理・整備管理費

コールセンター運営費、広報関係費、印刷通信費、備品購入費

(5)周知・広報

ポスター:公共施設・宿泊施設・コミュニティバス車内・商業施設・飲食店・宿舍・寮

チラシ配布:ビジネス(企業、官公庁)、中高生(学習塾の送迎)、高齢者

PR 動画放送:公共施設での放送

SNS:市公式 LINE、インスタ、Facebook

6. 南部乗合ライドシェア

(1)運行概要

運行期間:令和7年11月4日～令和8年3月31日

月～金曜日(祝日、12/29～1/3 除く)8時～17時

運行エリア:小松市南部エリア(符津、矢田野、栗津、那谷校下)

運行方式:乗合型、区域内

実施主体者:小松市

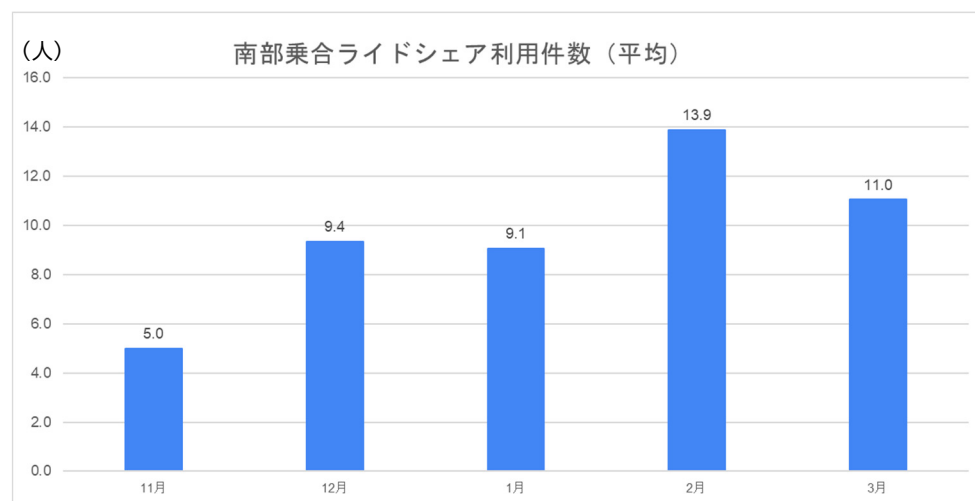
運営事業者:(株)パブリックテクノロジーズ

運行管理者:小松タクシー(株)

(2)利用状況

南部乗合ライドシェア利用実績

年	月	運行日数(日)	利用件数(件)	利用人数(人)	平均(件)	平均(人)
令和7年度	11月	18	90	103	5.0	5.7
	12月	20	187	197	9.4	9.9
	1月	19	172	183	9.1	9.6
	2月	18	250	263	13.9	14.6
	3月	21	232	264	11.0	12.6
合計		96	931	1,010	9.7	10.5



(3)ドライバー

登録者数:18人

報酬等:報酬 運賃の80%

燃料費 15円/km

待機手当 1日の従事時間が4時間以上8時間未満 2,000 円

1日の従事時間が8時間以上 4,000 円

(4)運行に係る経費

業務委託料:10,857千円

主な項目:システム初期設定費、運行管理・整備管理費、運用体制整備費、コールセンター運営費
ドライバー研修実施費、広報関係費、事務運営費、ドライバー手当、備品購入費

(5)周知・広報

ポスター:公共施設・商業施設・飲食店

チラシ配布:対象地域全世帯

住民説明会:町内会5回実施(約50人)

高齢者サロン27回実施(約500人)



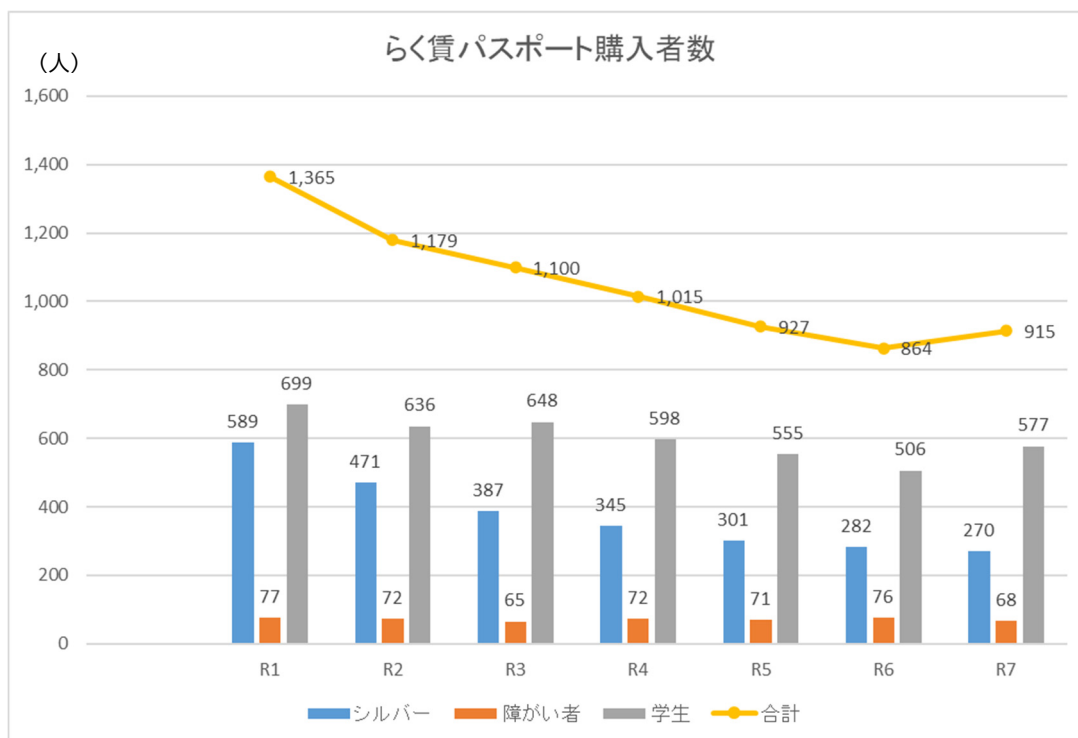
7. らく賃パスポート

交通弱者であるバス利用者の負担の軽減を図るとともに、路線バスの利用を促進することを目的とした路線バスのフリー乗車券。

対象者：高齢者(65歳以上)、障がい者、学生(中・高・大学生)

対象路線：市内の路線バス、コミュニティバス(佐野線、自動運転バス、市外区間を除く)

購入者数：915人(令和7年度)



令和7年度 小松市地域公共交通活性化協議会 歳入歳出決算書

【歳入の部】

(単位：円)

項目		予算額 A	決算額 B	増減 B-A	摘要
補助金	補助金	16,199,000	15,799,000	△ 400,000	地域公共交通調査事業補助金 (国補助) 3,750,000円 地域内フィーダー系統補助金 (国補助) 2,040,000円 地域公共交通確保維持改善事業費補助 金(市補助) 10,009,000円
繰越金	繰越金	127	127	0	
合計		16,199,127	15,799,127	△ 400,000	

【歳出の部】

(単位：円)

項目		予算額 A	決算額 B	増減 B-A	摘要
運営費	事務費	0	10,000	10,000	印紙
事業費	事業費	16,098,000	15,789,000	△ 309,000	地域公共交通調査事業補助金 (小松市へ支出) 3,750,000円 地域内フィーダー系統補助金 (小松市へ支出) 2,040,000円 小松市地域公共交通計画策定調査業務 委託料 9,999,000円
予備費	予備費	101,127	0	△ 101,127	
合計		16,199,127	15,799,000	△ 400,127	

歳入決算額15,799,127円－歳出決算額15,799,000円＝127円 令和8年度へ繰越

令和7年度 会計決算監査報告書

令和7年度小松市地域公共交通活性化協議会の収支決算を監査した結果、収入支出ともに適正に執行されていることを確認しました。

平成8年 3月31日

小松市地域公共交通活性化協議会

監事 小松市町内会連合会 副会長

北川 潔



監事 小松市
都市創造部長

坂井 宏



小松市地域公共交通活性化協議会

会 長 宮橋 勝栄 様

小松市地域公共交通

利便増進実施計画の策定に向けて

「地域公共交通利便増進実施計画」の概要

- ▶ 小松市地域公共交通計画で定めた「施策方針」等を受けて、計画期間である2026～2030年度の5年間で取組む具体的な事業等を定めた法定計画
〔 … 路線のルートやダイヤ、適切な交通モードの選択、乗継拠点の設定・充実、その他の利便増進策の内容及び実施時期 などを策定 〕
- ▶ 令和8年5月 ：上位計画および関連資料の整理及び現況・課題整理等
 令和8年6～10月：事業案の検討、運行事業者等との協議、全体収支の試算等
 令和8年10～11月：利便増進実施計画（素案）の提示
 令和9年3月 ：活性化協議会において「利便増進実施計画」策定（予定）
- ▶ 計画案や取組案は地域公共交通計画専門部会にて検討し、活性化協議会に上程

地域別の公共交通の現況・課題

交 通 エリア	地域基礎情報		公共交通の運行状況					現 況	課 題	
	人口	交通・高校・ 商業施設等	主な 乗合交通	運行 本数 (平日)	運行 本数 (休日)	利用実績				
	うち 65歳以上人口 高齢化率					1便平均 利用者数 (平日)	1便平均 利用者数 (休日)			
北部 〔安宅 犬丸 荒屋 など〕	11,823人 3,794人 32.1%	・IR明峰駅 ・小松空港 ・小松明峰高校 ・小松北高校 ・イオン小松店 ・ドン・キホーテ 他	寺井線	10便	9便	5.7人	2.3人	・3路線（寺井線・小杉線・佐野線） が類似したルートを運行している ・交通空白が発生している ・特に寺井線・小杉線は、平日・休日 ともに日中のバス利用が少ない ・安宅新町・工業団地方面にバス路 線がない ・空港連絡線の運行時刻は、航空機 の発着時間に合わせて変動する運 行となっている	・路線重複による運行効率の低下 ・需要に応じたバス運行（時間、本 数） ・限られた車両や運転手の有効活用 ・通勤・通学需要への対応 ・交通空白地の解消	
			小杉線	6便	4便	6.9人	1.3人			
			佐野線	7便	12便	*7.2人	*1.6人			
			国府線	10便	10便	5.9人	3.5人			
			安宅線	13便	12便	7.6人	4.3人			
			空港連絡線 (自動運転含む)	38便	38便	*8.6人	*9.8人			
東部 〔第一 能美 国府 中東 松 など〕	28,188人 8,488人 30.1%	・小松工業高校 ・小松商業高校 ・小松市立高校 ・イオンモール新小松 ・やわたメディカル センター 他	ハニベ線	15便	8便	19.3人	9.1人	・主に朝の高校生（工業高校・商業 高校・市立高校）の通学時間帯の バスが混雑している ・松東地区乗合タクシーが前日予約 である ・西軽海町等が高台のため高齢者の 徒歩移動に制約がある ・朝夕の通学需要以外では軽海団地 エリアで一定の利用がある	・通学需要への対応 ・松東地区乗合交通の利便性向上 ・高齢者の移動負担、公共交通への アクセス改善	
			大杉線	4便	4便	13.0人	4.5人			
			麦口線	10便	5便	13.1人	6.2人			
			尾小屋線	4便	2便	20.9人	6.0人			
			松東地区乗合 タクシー (尾小屋ルート)	5便 (予約制)	5便 (予約制)	1日あたり 1.2人	1日あたり 0.6人			
			松東地区乗合 タクシー (大杉ルート)	5便 (予約制)	5便 (予約制)	1日あたり 0.03人	1日あたり 0人			
南部 〔符津 木場 栗津 那谷 矢田野 月津 など〕	19,094人 5,915人 31.0%	・IR栗津駅 ・市役所南支所 ・ショッピングスクエア こまなん ・小松大谷高校 ・栗津温泉 他	木場潟線	6便	5便	7.7人	8.8人	・バスの減便や廃止により大谷高校 生の通学手段に制約が生じている ・南部地区の居住地は面で広がって おり定路方式のバス交通では交通 空白地対策が難しい ・おびし町・南陽町等が高台で高齢 者の徒歩移動に制約がある ・月津線では、小松駅一串を除く区 間の利用者が少ない	・通学等の需要に対応した輸送経路 等の改善 ・交通空白地の解消 ・高齢者の移動負担、公共交通への アクセス改善 ・需要に応じたバス運行（時間、本 数）	
			栗津線	12便	9便	14.1人	9.9人			
			月津線	6便	5便	6.5人	2.5人			
			加賀周遊バス CANBUS	(山まわり線)5便 (小松空港線)5便						
			南部乗合 ライドシェア	月～金曜日 8:00～17:00	1日あたり 10人	—				

2

地域別の公共交通の現況・課題

エリア	地域基礎情報		公共交通の運行状況					現 況	課 題
	人口	交通・高校・ 商業施設等	主な 乗合交通	運行 本数 (平日)	運行 本数 (休日)	利用実績			
	うち 65歳以上人口 高齢化率					1便平均 利用者数 (平日)	1便平均 利用者数 (休日)		
中西部 〔日末・串〕	10,488人 2,881人 27.5%	・JAあぐり ・パロー串店 他	佐美線	2便	2便	8.5人	3.8人	・佐美線では、小松駅一串を除く区間の利用者が少ない	・交通空白地の解消 ・高齢者の移動負担、公共交通へのアクセス改善
〔今江 向本折 蓮代寺〕	8,160人 2,322人 28.5%	・Aコープ 今江店 他	(再掲) 木場潟線 栗津線 など					・今江、蓮代寺等の一部の区域が交通空白地になっている	
小松駅 周辺 〔稚松 芦城 苗代 など〕	26,495人 7,120人 26.9%	・JR小松駅 ・小松市役所 ・芦城公園 ・小松運動公園 ・小松高校 ・小松市民病院 ・アル・プラザ 小松 ・フレスタ 小松 他	市内循環線 (北コース)	8便	8便	9.5人	7.8人	・小松駅と郊外をつなぐ複数路線が同一ルートを運行している ・市内循環線は買い物（イオンモール新小松、イオン小松店、アル・プラザ等）や通院（市民病院、やわたメディカルセンターなど）で利用されている	・路線の重複による低い運行効率や複数乗入れにより複雑になっている小松駅のバス乗り場の改善 ・小松駅周辺施設へのアクセス改善
			市内循環線 (南コース)	8便	8便	11.3人	10.6人	・一方で市内循環線は、北部や東部地域も経由する大回りのルートとなっており、商業施設や各種機関へのアクセスに時間を要している	

*エリア別人口は、令和8年6月1日現在の小学校下単位の人口から集計
 *利用実績は、令和8年3月ダイヤ改正後～7月現在の利用者数から集計
 （ただし佐野線・空港連絡線は、令和7年通年の数値）

一部の地区や事業だけでなく**全体最適**を目指す = **市全域でより良い交通体系をみんなで実現**

幹線バス、コミュニティバス

- ・ **路線の見直し**（経路、ダイヤ等）
- ・ 学生需要等への対応

市外との地域間幹線バス

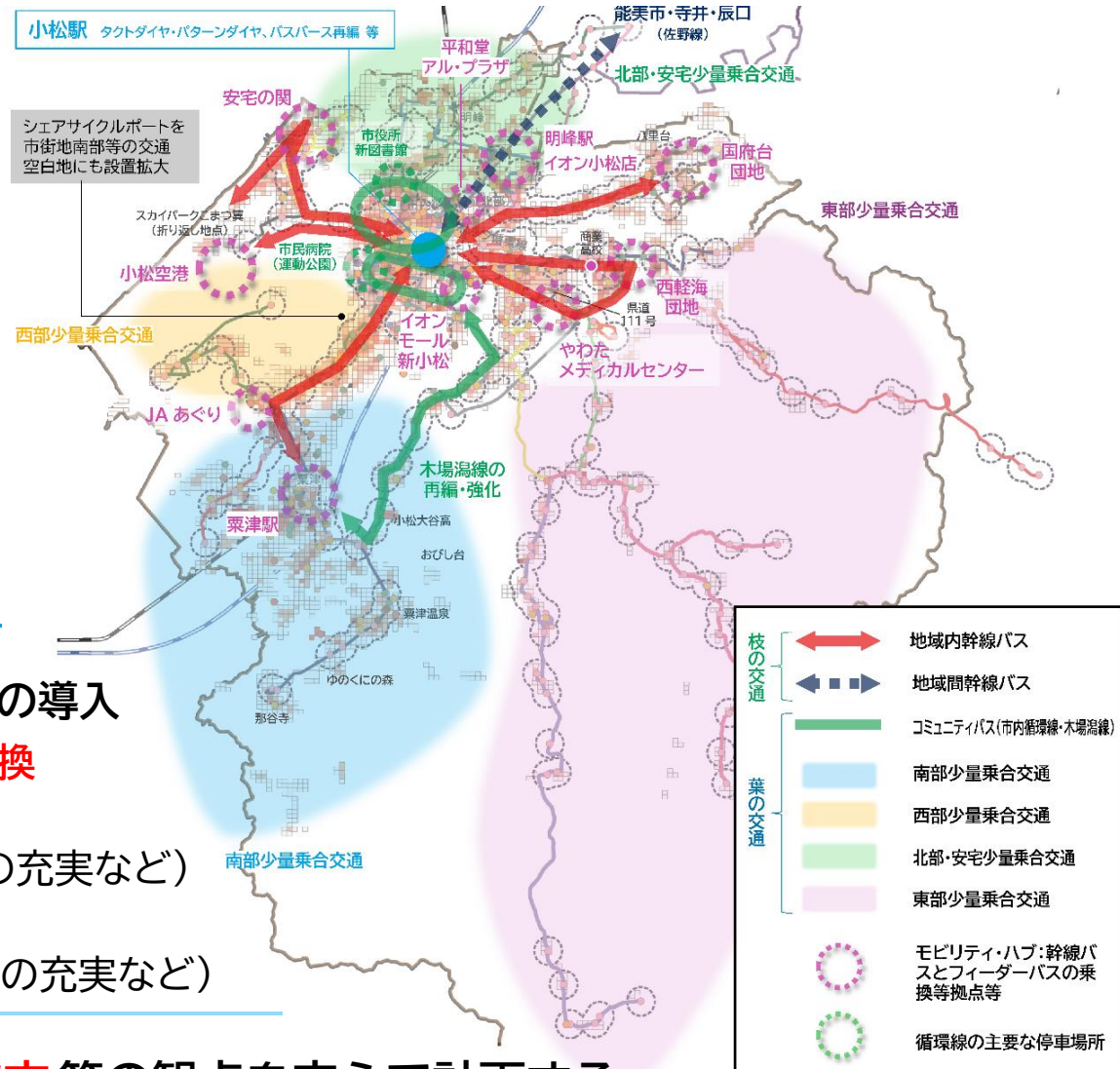
- ・ 路線の見直し（路線集約等）

鉄道（駅）との乗継ぎ向上

- ・ 小松駅での**タクトダイヤ**および**パターンダイヤ**の導入
- ・ 粟津駅・明峰駅の待合空間の向上

郊外エリアでの適切な交通モードの導入

- ・ 路線バスから**少量乗合交通**への転換
- ・ **交通空白地区の解消**
（路線バスの延伸や少量乗合交通の充実など）
- ・ **交通結節拠点の強化**
（適切な乗継場所の設定、待合機能の充実など）



➡ **適切な運賃・料金体系や運営収支**等の観点を変えて計画する

2030年までの公共交通再編イメージ（地域別）

今年度協議・計画策定

北部エリア [安宅、犬丸、荒屋地区 など]

主な再編イメージ

- ✓ 小松駅～能美市の路線バスの再編（路線の統合、ルート見直し、多頻度化）
- ✓ 小松空港から工業団地方面への路線バスの延伸
- ✓ コミュニティバス等に代わる少量乗合交通への転換（例：乗合ライドシェアなど）
- ✓ 交通結節点の強化（駅や商業施設などの活用） など

★コミュニティバス・路線バス
→少量乗合交通への転換

★北部方面バス
→1路線に集約

★工業団地方面
への延伸

★交通結節点の機能強化



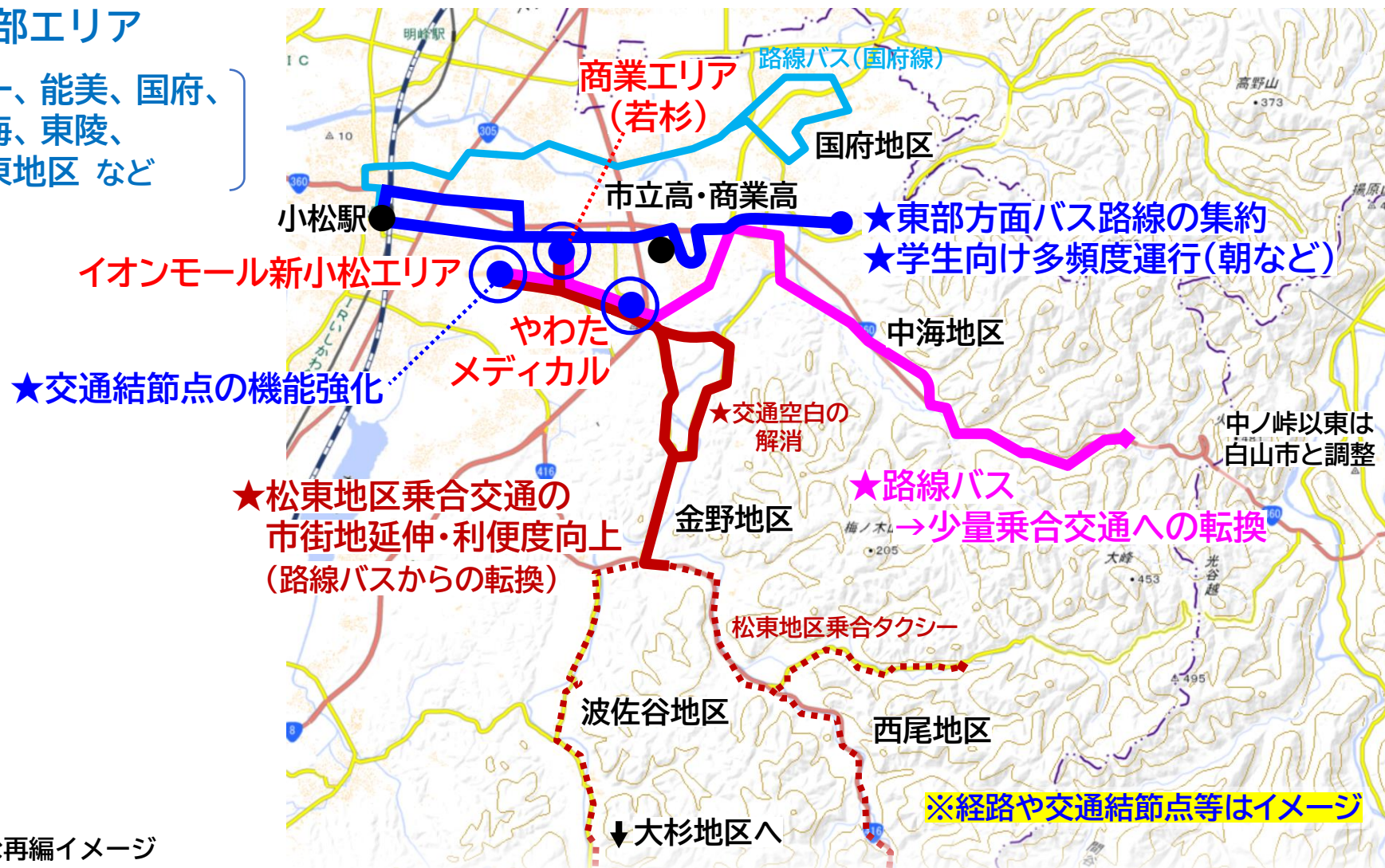
※経路や交通結節点等はイメージ

2030年までの公共交通再編イメージ（地域別）

今年度協議・計画策定

東部エリア

第一、能美、国府、
中海、東陵、
松東地区 など



主な再編イメージ

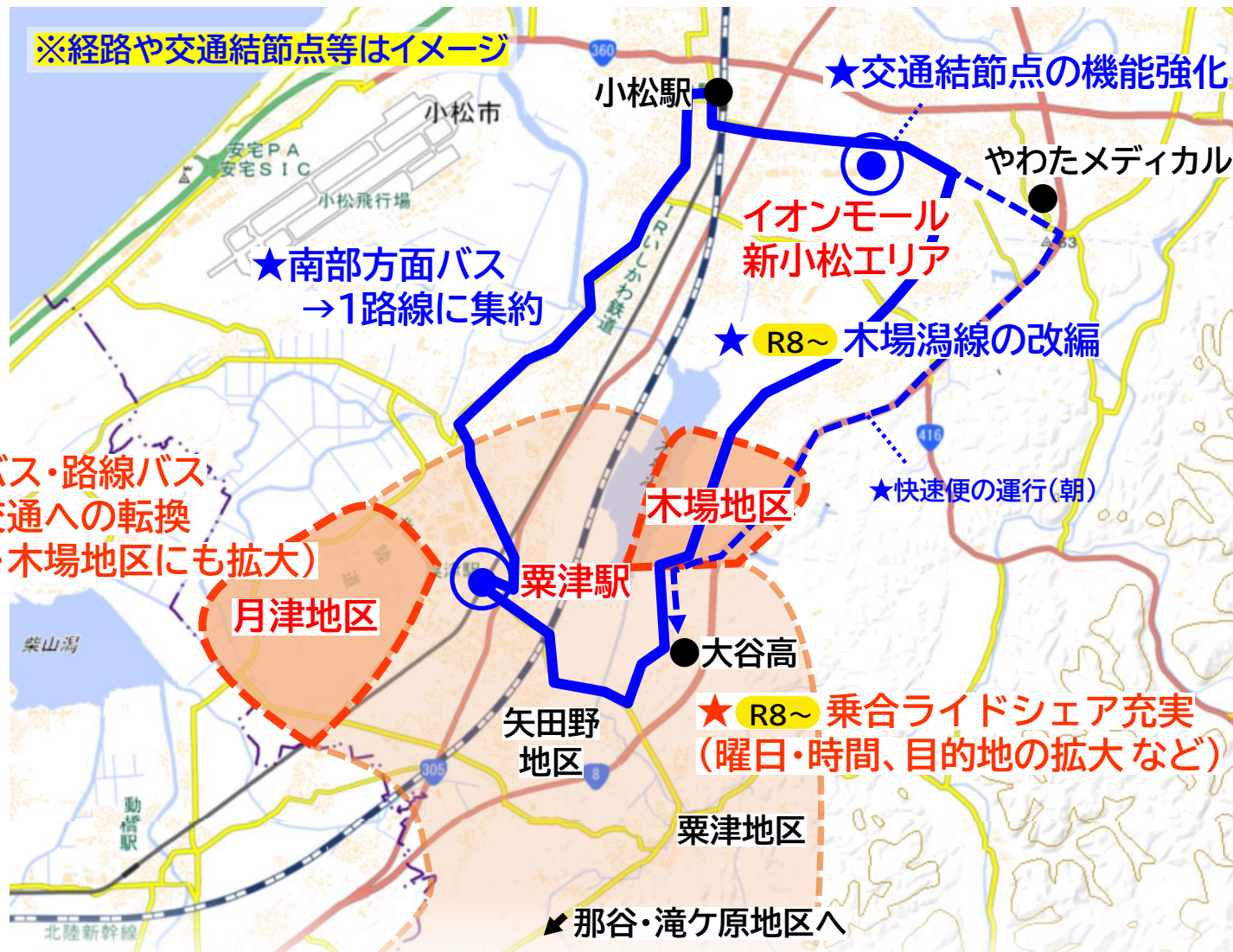
- ✓ 小松駅～東陵・ハニベ方面の**路線バスの再編**（路線の統合、ルート見直し、多頻度化）
- ✓ 中海地区への**少量乗合交通への転換**（例：中海町～中ノ峠での乗合タクシーなど）
- ✓ 松東地区の**少量乗合交通の充実**（市街地への延伸、交通空白エリアの解消） など

2030年までの公共交通再編イメージ（地域別）

今年度協議・計画策定

南部エリア

符津、木場、栗津、
那谷、矢田野、
月津地区 など



主な再編イメージ

- ✓ 栗津温泉・那谷/月津/佐美方面の**路線バスの再編**（栗津駅発着に集約、多頻度化）
- ✓ 栗津駅～木場地区～小松駅の**コミュニティバス(木場湯線)の改編**、交通結節点の充実
- ✓ 南部少量乗合交通の充実（**乗合ライドシェアの利便度向上**） など

2030年までの公共交通再編イメージ（地域別）

今年度協議・計画策定

中西部エリア〔日末、串地区 及び 今江、向本折、蓮代寺の交通空白エリア〕

主な再編イメージ

- ✓ 路線バス等に代わる**少量乗合交通**（例：乗合ライドシェアなど）への転換・交通空白地の解消
- ✓ **交通結節点の強化**（商業施設などの活用） など

※経路や交通結節点等はイメージ



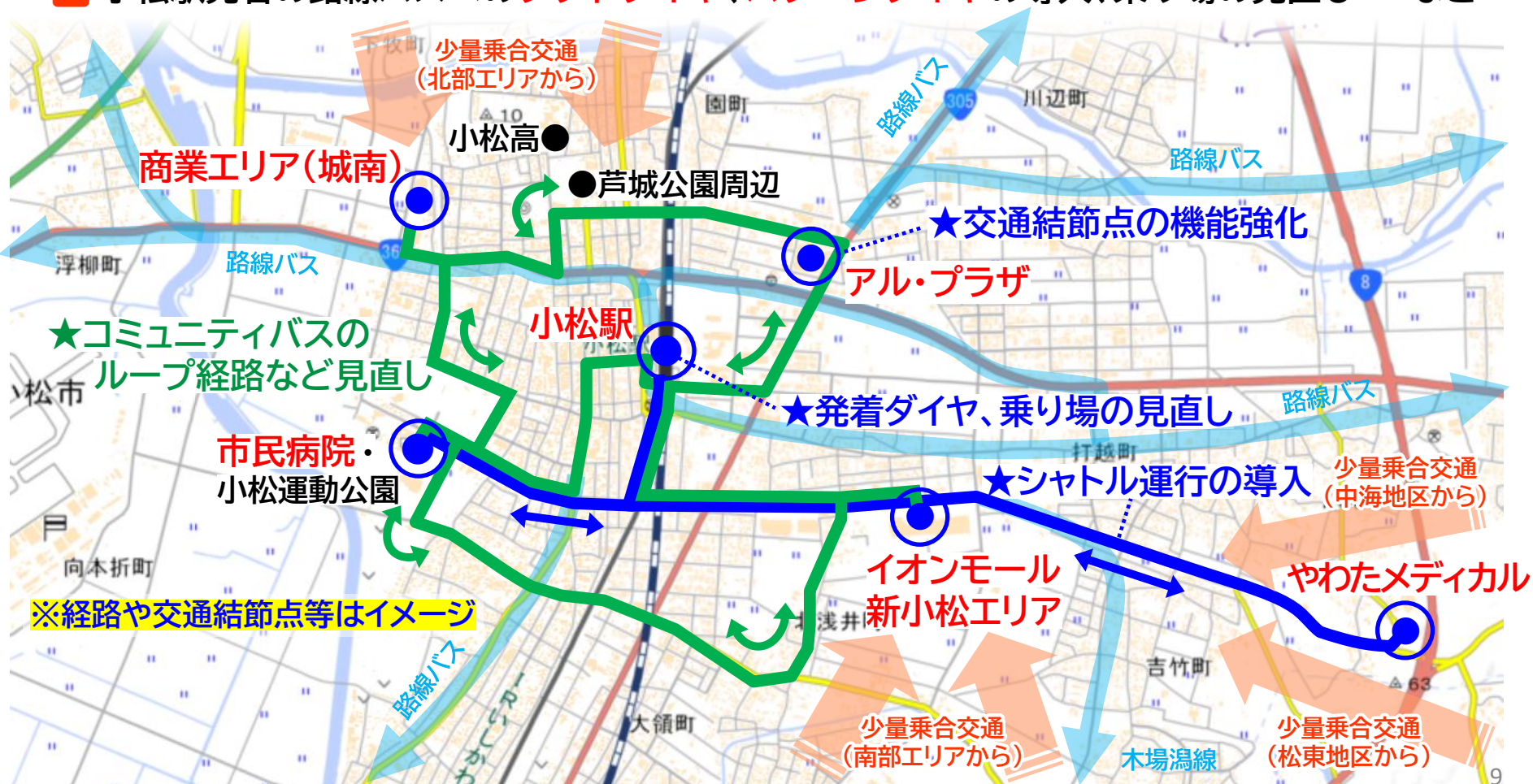
2030年までの公共交通再編イメージ（地域別）

今年度協議・計画策定

小松駅周辺エリア〔稚松、芦城、苗代地区 など〕

主な再編イメージ

- ✓ **コミュニティバスの再編**（ルート見直し、多頻度化（ループ〔循環〕型・シャトル〔往復〕型））
- ✓ **交通結節点を強化**し、郊外エリアとの乗継ぎや乗換えの利便性を向上
- ✓ **小松駅発着の路線バスへのタクトダイヤ、パターンダイヤの導入**、乗り場の見直し など



現状と課題

○北鉄加賀バスのダイヤ改正等

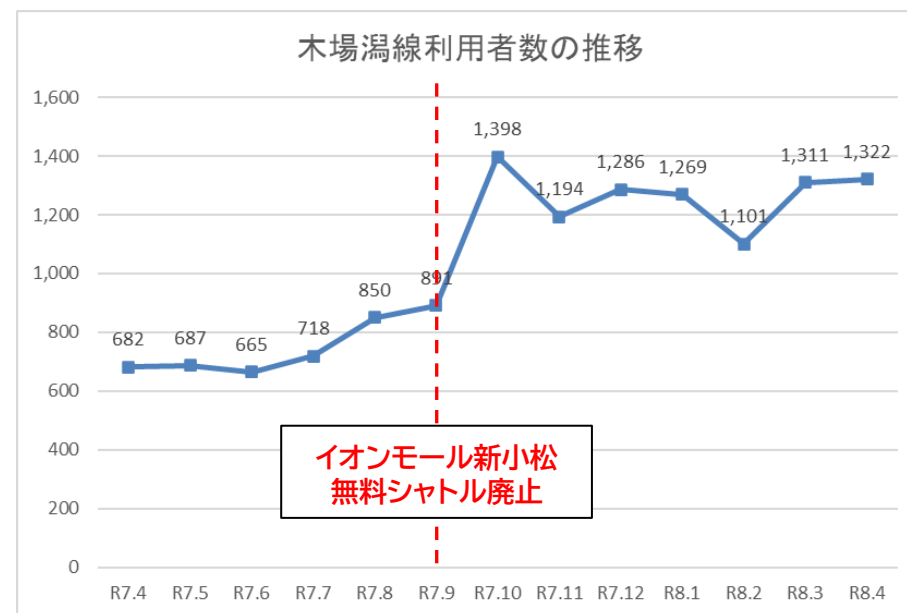
小松駅方面から、小松大谷高校生徒の通学に路線バスが利用できない(栗津線の減便)
能美市方面からのスクールバス廃止(R9年度予定) 小松大谷高校からもバス運行の要望あり

○イオンモール新小松の無料シャトルバス廃止

無料シャトルバス廃止(R7.9)により利用者増(約2倍) R7年度利用者数:約12,000人

○非効率な経路

道の駅こまつ木場潟、やわたメディカルセンター間の往復コース



コミュニティバス木場潟線の見直し

見直しの着眼点

○小松大谷高校生徒の通学への対応

小松大谷高校生徒の通学に利用できるようダイヤの見直し
現行1日3往復の内、朝・夕の2往復については通学時間帯へ変更

○イオンモール新小松～やわたメディカルセンター行き系統

利用ニーズが高く、利用者増が見込める系統の新設
小松駅～やわたメディカルセンター間 3往復

○非効率な経路の見直し

道の駅こまつ木場潟、やわたメディカルセンター間の往復コース廃止

○路線見直しに伴う運賃の改定

往復ゾーンと他のゾーン区間で乗降した場合の加算(150円)を廃止
※往復コース廃止後、やわたメディカルセンターは木場潟ゾーンに含める

■国補助事業の活用

国土交通省補助事業活用

総事業費:9,171千円 補助金額:7,674千円

路線見直しに係る経費(表示等の変更に係る経費、広報費等)、及び
運行に係る経費の一部が補助対象



コミュニティバス木場潟線の見直し

運賃改定

往復コースの廃止に伴い、往復ゾーンと他のゾーン区間で乗り降りした場合の150円の加算を廃止

現行	乗車区間が1つのゾーンのみの場合	一律150円(小学生及び障がい者80円)
	乗車区間が小松駅・栗津駅・木場潟ゾーンを超えた場合は 往復ゾーンと他のゾーン区間で乗り降りした場合は	一律300円(小学生及び障がい者150円) 一律150円加算(小学生及び障がい者80円)
改定案	乗車区間が1つのゾーンのみの場合	一律150円(小学生及び障がい者80円)
	乗車区間が小松駅・栗津駅・木場潟ゾーンを超えた場合は	一律300円(小学生及び障がい者150円)

スケジュール

令和8年4月～6月	ルート・ダイヤ案の作成 有識者・関係機関に相談
令和8年7月～8月	小松市地域公共交通活性化協議会で審議(7/16) 小松市運賃協議分科会で審議(7/16) 石川運輸支局へ変更申請 利用者・地域への周知
令和8年10月1日	運行開始

 木場潟線(現行)

[illegible]

(下り)

運行		停名 行先	小	土	病小	新イ	溝	北	本	蓮	道	ルセ	道	三	レイ	木	木	木	木	小	津	下		新	栗
平日	土日祝日		松	居	小松 院 前	オン 小 ソフ イ モ ル	六	浅	江	代	こま つ の	やわた メ ディ カ ル セ ン タ ー	こま つ の	谷	サイド 木 場	湯 中 央 園 地	湯 温 泉	場	場	松 大 谷 高 校 前	波 倉	栗 津		島	津 駅 前
○		栗津駅前	9:00	9:02	9:06	9:08	9:11	9:12	9:15	9:16	9:20	-	-	9:22	9:23	9:24	9:25	9:26	9:27	9:28	9:29	9:30	9:31	9:32	9:37
○	○	栗津駅前	11:00	11:02	11:06	11:08	11:11	11:12	11:15	11:16	11:20	11:26	11:31	11:33	11:34	11:35	11:36	11:37	11:38	11:39	11:40	11:41	11:42	11:43	11:48
○	○	栗津駅前	15:05	15:07	15:11	15:13	15:16	15:17	15:20	15:21	15:25	15:31	15:36	15:38	15:39	15:40	15:41	15:42	15:43	15:44	15:45	15:46	15:47	15:48	15:53

(上り)

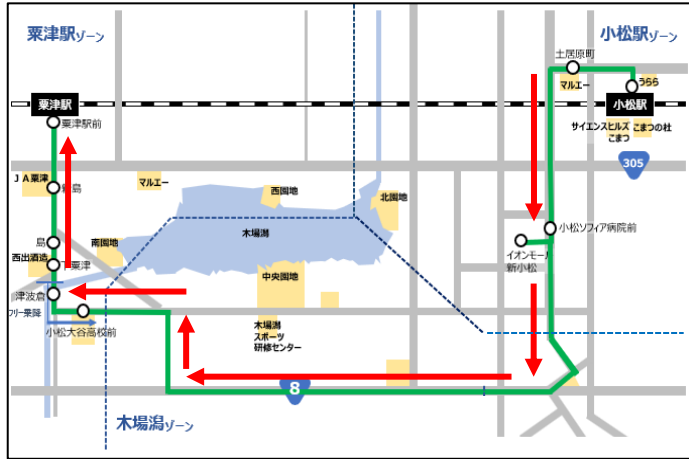
運行		停名 行先	栗津駅	新島	下栗津	津波倉	小松大谷高校前	木場台	木場	木場温泉	木場湯中央園地	レイクサイド木場	三谷町	道こまつの湯	道こまつの湯	道こまつの湯	蓮代寺町	本江西	北浅井町	清六町	病小松ソフ院前	新小松	イオンモール	土居原町	小松駅
平日	土日祝日		小松駅	9:40	9:42	9:43	9:44	9:45	9:46	9:47	9:48	9:49	9:50	9:51	9:52	9:54	10:00	10:05	10:07	10:08	10:11	10:12	10:13	10:17	10:21
○	○	小松駅	12:00	12:02	12:03	12:04	12:05	12:06	12:07	12:08	12:09	12:10	12:11	12:12	12:14	12:20	12:25	12:27	12:28	12:31	12:32	12:33	12:37	12:41	12:43
○	○	小松駅	16:10	16:12	16:13	16:14	16:15	16:16	16:17	16:18	16:19	16:20	16:21	16:22	16:24	-	-	16:26	16:27	16:30	16:31	16:32	16:36	16:40	16:42

コミュニティバス木場潟線の見直し

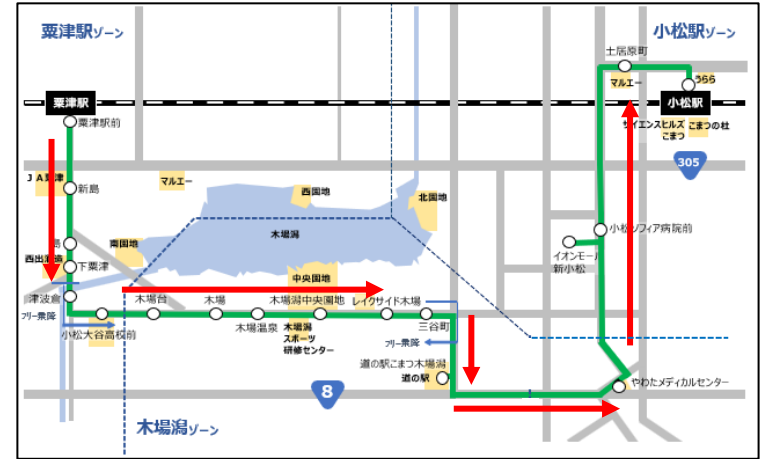
木場潟線(小松駅～栗津駅)

【運行経路(案)】

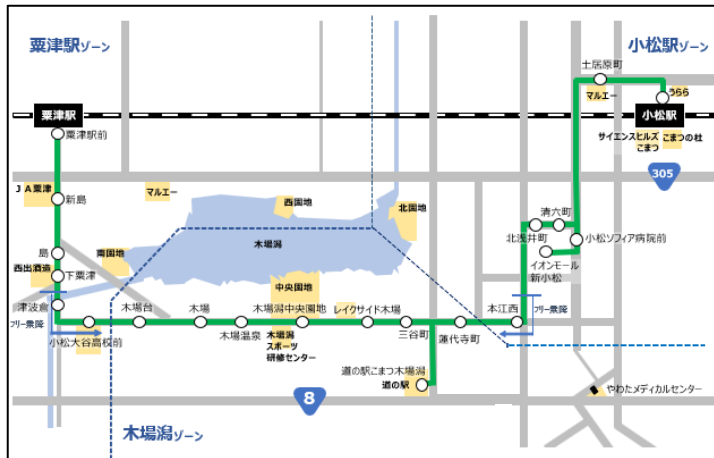
ルート①
朝の下り
※学生ライナー



ルート②
朝の上り



ルート③ 昼・夕の上・下



コミュニティバス木場潟線の見直し

木場潟線(小松駅～栗津駅)

【運行ダイヤ(案)】

下り	運行		ルート	停名 行先	小松駅	土居原町	小松ソフィア 病院前	イオンモール 新小松	清六町	北浅井町	本江西	蓮代寺町	こまつ木場潟 道の駅	三谷町	レイクサイド 木場	木場潟中央園地	木場温泉	木場	木場台	小松大谷高校前	津波倉	下栗津	島	新島	栗津駅前
	平日・土	日・祝日																							
	○		①	栗津駅前	8:05	8:07	8:11	8:13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8:26	8:27	8:28	8:29	8:30	8:35
	○	○	③	栗津駅前	11:30	11:32	11:36	11:38	11:41	11:42	11:45	11:46	11:50	11:52	11:53	11:54	11:55	11:56	11:57	11:58	11:59	12:00	12:01	12:02	12:07
	○	○	③	栗津駅前	15:30	15:32	15:36	15:38	15:41	15:42	15:45	15:46	15:50	15:52	15:53	15:54	15:55	15:56	15:57	15:58	15:59	16:00	16:01	16:02	16:07

上り	運行		ルート	停名 行先	栗津駅前	新島	島	下栗津	津波倉	小松大谷高校前	木場台	木場	木場温泉	木場潟中央園地	レイクサイド 木場	三谷町	こまつ木場潟 道の駅	やわたメデイ カルセンター	蓮代寺町	本江西	北浅井町	清六町	小松ソフィア 病院前	イオンモール 新小松	土居原町	小松駅
	平日・土	日・祝日																								
	○	○	②	小松駅	8:40	8:42	8:43	8:44	8:45	8:46	8:47	8:49	8:50	8:51	8:52	8:53	8:55	9:01	-	-	-	-	9:07	9:11	9:15	9:17
	○	○	③	小松駅	12:15	12:17	12:18	12:19	12:20	12:21	12:22	12:24	12:25	12:26	12:27	12:28	12:30	-	12:32	12:33	12:36	12:37	12:38	12:42	12:46	12:48
	○	○	③	小松駅	16:30	16:32	16:33	16:34	16:35	16:36	16:37	16:39	16:40	16:41	16:42	16:43	16:45	-	16:47	16:48	16:51	16:52	16:53	16:57	17:01	17:03

コミュニティバス木場潟線の見直し

小松駅～やわたメディカルセンター線(系統)

【運行経路(案)】



【運行ダイヤ(案)】

下り	運行		停名 行先	小松駅	土居原町	小松ソフィア 病院前	イオンモール 新小松	やわたメディカルセンター					
	平日	土日祝日											
	○	○	やわたメディカルセンター						9:30	9:32	9:36	9:38	9:44
	○	○	やわたメディカルセンター						10:30	10:32	10:36	10:38	10:44
	○	○	やわたメディカルセンター						14:30	14:32	14:36	14:38	14:44

上り	運行		停名 行先	やわたメディカルセンター	小松ソフィア病院前	イオンモール新小松	土居原町	小松駅
	平日	土日祝日						
	○	○	小松駅	9:50	9:56	10:00	10:04	10:06
	○	○	小松駅	10:50	10:56	11:00	11:04	11:06
	○	○	小松駅	14:50	14:56	15:00	15:04	15:06

小松市ライドシェア(i-Chan)とタクシーとの共同運営

目的

週末(木・金・土)夜間の時間帯において、タクシー不足により配車できない時に公共ライドシェアを配車することで、時間帯の交通空白を解消し、利用者の利便性向上を図るため、一元管理システムを活用し共同運営を開始するもの

一元管理システムの導入

運用開始：令和8年8月1日

実施主体者：小松市

運営事業者：リベラ(株)・(株)パブリックテクノロジーズ

参加事業者：小松タクシー(株)、第一交通(株)、石川交通(株)

(有)石川相互タクシー、加賀タクシー(株)

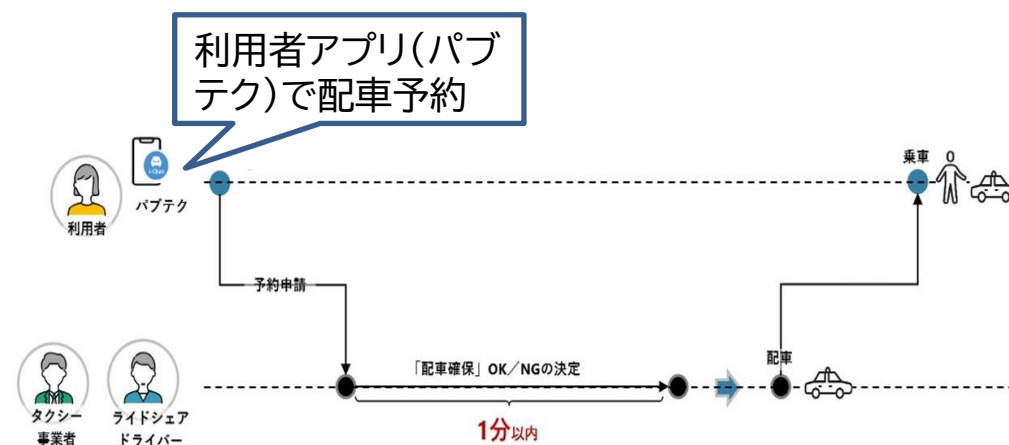
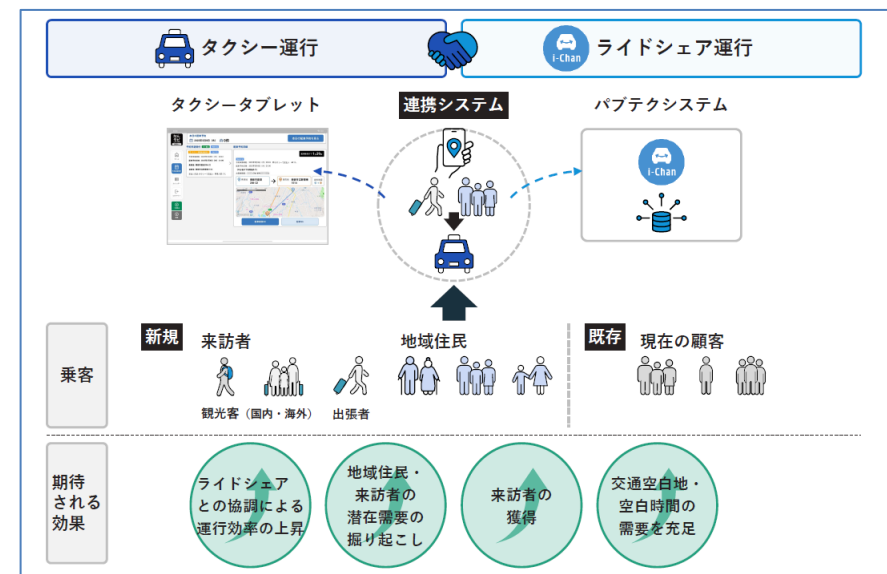
システム利用可能時間：7時～26時 ※配車予約可能時間

配車の流れ

- 利用者は、パブテク(アプリ)で、日時、乗車地、目的地を入力し、配車予約
- タクシー事業者は、予約申請を受け、配車確保の「OKまたはNG」を1分以内に決定
- OKの場合は配車、タクシー事業者全てがNGの場合はi-Chanで配車

※タクシー事業者、i-Chanを個別に指定して予約也可

【共同運営イメージ図】



小松市ライドシェア(i-Chan)とタクシーとの共同運営

i-Chan 運行の一部変更

運行概要

運行日時:木曜日 17時～24時
金曜日・土曜日 17時～25時 ※終電に合わせて1時間延長
運行エリア:小松市・能美市・加賀市 ※発着のいずれかが小松市内に限る
実施主体者:小松市
運営事業者:(株)パブリックテクノロジーズ
運行管理者:小松タクシー(株)

運賃

タクシー料金と同一の距離制運賃
初乗りを1kmまで400円 ⇒1kmまで600円
加算運賃300mごとに100円 ⇒250mごとに100円

運用開始

令和8年8月1日～

<料金表>

小松市版（現在）			小松市版（改定後）		
kmまで	加算距離	タクシーの8割	kmまで	加算距離	運賃
1		400	1		600
1.3	0.3	500	1.25	0.25	700
1.6	0.3	600	1.50	0.25	800
1.9	0.3	700	1.75	0.25	900
2.2	0.3	800	2.00	0.25	1,000
2.5	0.3	900	2.25	0.25	1,100
2.8	0.3	1,000	2.50	0.25	1,200
3.1	0.3	1,100	2.75	0.25	1,300
3.4	0.3	1,200	3.00	0.25	1,400
3.7	0.3	1,300	3.25	0.25	1,500
4	0.3	1,400	3.50	0.25	1,600
4.3	0.3	1,500	3.75	0.25	1,700
4.6	0.3	1,600	4.00	0.25	1,800
4.9	0.3	1,700	4.25	0.25	1,900
5.2	0.3	1,800	4.50	0.25	2,000
5.5	0.3	1,900	4.75	0.25	2,100
5.8	0.3	2,000	5.00	0.25	2,200
6.1	0.3	2,100	5.25	0.25	2,300
6.4	0.3	2,200	5.50	0.25	2,400
6.7	0.3	2,300	5.75	0.25	2,500
7	0.3	2,400	6.00	0.25	2,600
7.3	0.3	2,500	6.25	0.25	2,700
7.6	0.3	2,600	6.50	0.25	2,800
7.9	0.3	2,700	6.75	0.25	2,900
8.2	0.3	2,800	7.00	0.25	3,000
8.5	0.3	2,900	7.25	0.25	3,100
8.8	0.3	3,000	7.50	0.25	3,200
9.1	0.3	3,100	7.75	0.25	3,300
9.4	0.3	3,200	8.00	0.25	3,400
9.7	0.3	3,300	8.25	0.25	3,500
10	0.3	3,400	8.50	0.25	3,600

小松市ライドシェア(i-Chan)とタクシーとの共同運営

スケジュール

2026年8月1日の共同運営開始・運賃改定に向けて準備

実施内容	2026年			
	6月	7月	8月	9月
事業者・ドライバー準備	研修・運用調整			
利用者・住民への周知		チラシ・アプリ告知		
共同運営 開始／運賃改定			8月1日～	
運行モニタリング・協議会報告			運用状況を継続確認	

南部乗合ライドシェアの実証実験

事業背景・目的

昨年度の課題を解決するためにアップデートし実証実験を実施

事業概要

事業実施地域

南部乗合ライドシェアの実証実験

支払い方法

現金、PayPay、クレジットカード

運賃表

(円)

距離	午前(7:00~12:00)			午後(12:00~19:00)			全日
	一般	らく賃バス ポート	中学生・高校 生・障がい者	一般	らく賃バス ポート	中学生・高校 生・障がい者	小学生以下
3kmまで	300	200	150	200	100	100	100
3~4km	400	300	200	300	200	150	
4~5km	500	400	250	400	300	200	
5~6km	600	500	300	500	400	250	
6~7km	700	600	350	600	500	300	
7~8km	800	700	400	700	600	350	
8~9km	900	800	450	800	700	400	
9~10km	1000	900	500	900	800	450	
10km超							

※障がい者1人につき同乗者1人まで障がい者料金適用

※小学生以下は、大人1人につき1人無料

予約方法

- 電話（コールセンター）、配車アプリ（パブテク）
- 受付は乗車希望時間の2営業日前から30分前まで
- 15分毎の配車枠に設定

ドライバー数

登録人数:15人 運行台数:常時2台

ドライバー報酬

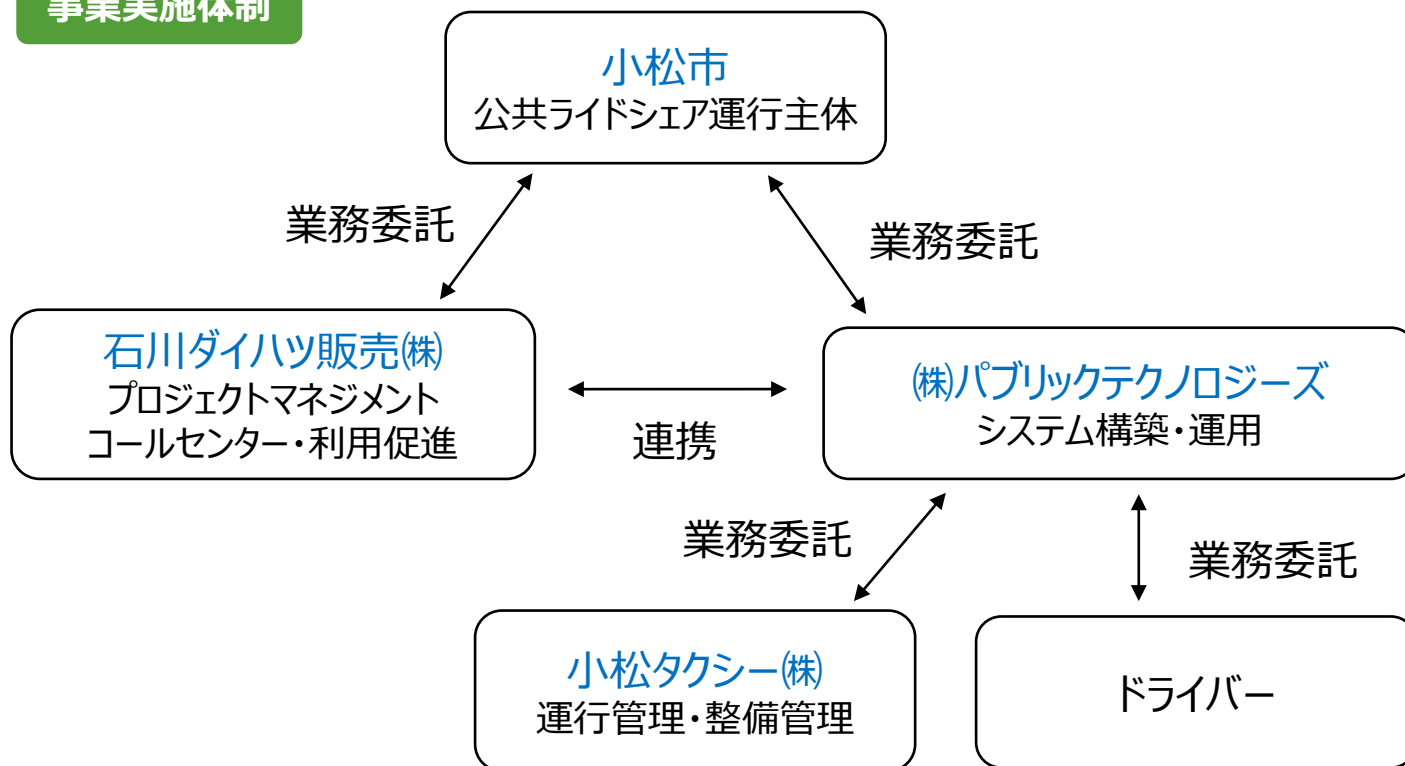
- 運賃 : (割引前)の80% + 手当
- 基本手当 : 4時間/日以上3,000円、8時間/日以上6,000円、12時間以上9,000円
- 燃料費手当:15円/km

安全運行の対策

- ✓ 大臣認定講習の受講
- ✓ **ドライバーの適正診断(NASVA)**
- ✓ ドライブレコーダーの設置(前後車内)
- ✓ 車両の法定点検
- ✓ 運行前後の点呼(アルコール・健康チェック)
- ✓ ライドシェア保険の加入(対人・対物無制限、同乗者3千万円以上)

南部乗合ライドシェアの実証実験

事業実施体制



スケジュール

7月～8月	町内会・利用者説明会、コールセンター準備、システム改修・テスト
8月～	運行開始 利用者調査、データ分析
2月	国庫補助金の実績報告

自動運転バスの事故報告

1. 事故概要

○ 発生日時

令和8年5月 13 日(水)11 時 31 分

○ 発生場所

小松駅西口広場

(小松駅西口バスロータリー)

○ 発生状況

- ・小松空港－小松駅間を営業運行している車両が、小松駅前交差点からバスロータリーに進出し右にカーブする際、車両左前方外装部が道路脇の縁石に接触した。
- ・自動運転レベル2(運転操作の主体は運転者で、アクセル・ブレーキ・ハンドル操作が部分的に自動化)での自動走行中(時速 9.6km)であった。
- ・接触後、ドライバーが手動介入し車両を停止させ、危険防止のための対応を行った。
- ・警察へ通報し、現場検証等を受けるとともに、事故後の運行は代替え車両で実施した。

○ 被害状況

- ・事故によるけが人はなかった。乗客は乗車しておらず、ドライバー、歩行者等にもけが人はなかった。
- ・縁石及び車両に擦り傷が生じた。



車両接触箇所

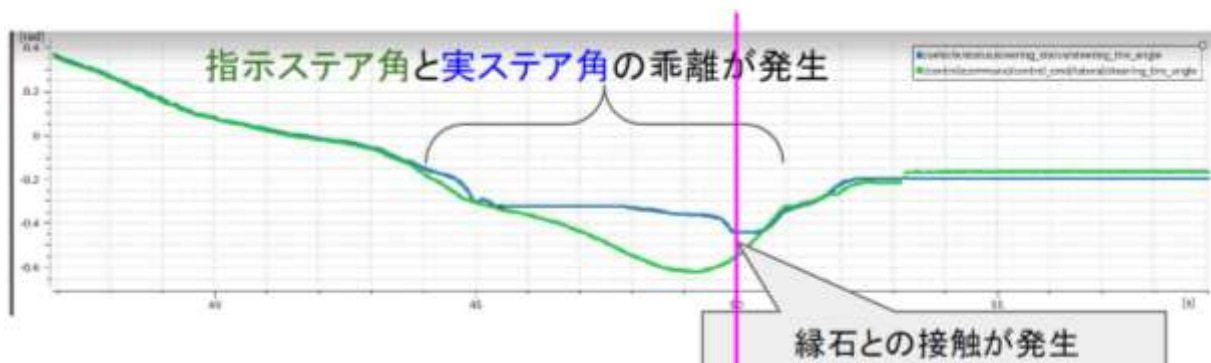


縁石の擦過痕

2. 事故原因の調査・検証

- 車両に記録されたログデータの解析及び、ハンドルからタイヤに至るまでの操舵に関する各種機器の点検を実施。

- 北鉄加賀バス車両基地構内(5月21日～26日)及び、事故現場である小松駅西口バスロータリーで再現実験を実施(6月10日～12日)。
- 事故時と同様の事象の再現には至っていないが、ログデータの解析や検証走行での結果を踏まえ、現段階では、自動運転時のみ使用する操舵システム周辺で不具合が発生した可能性が推測されている。
- 自動運転時のみ使用する操舵システムにおいて、自動運転システムが指示したステア角(下図 緑線)と実際のステア角(青線)の乖離が発生したことが確認されており、何らかの原因により指示操舵角追従性能が落ち、指示通りに操舵できない事象が発生したことが接触事故につながったとみられる。
- 自動運転システムでは、自動運転時のみ使用する操舵システム側の自己診断で異常を検知した場合には減速・停止するように設定されているが、今回のケースでは異常として検知されなかった。



3. 今後の対応

- 不具合が発生した可能性を考慮し、自動運転時のみ使用する操舵システムについて必要な点検及び交換を実施する。
- 今後、同様の事象が発生したとしても、事故につながらないよう新たな安全機能を追加・設定する。
 - ・システムが指示したステアリング角度と、実際に切られたステアリング角度の乖離を検知し、減速・停車させる機能
 - ・縁石等の構造物を適切に認識し、接触を防止する機能
- 調査の結果、手動によるステアリング操作に関する機器の不具合は確認されず、手動運転での車両運行については問題ないと判断されることから、手動運転での車両運行復帰に向けて準備を進める。
- 自動運転での車両運行の再開については、事故原因が特定された後、試験走行により安全性を確認した上で判断する。